

帰りのスクールバスを待つ間、子どもたちは「放課後子ども教室」に参加する。学校併設の「放課後児童クラブ」が留守家庭の小学1～3年生を対象とする一方で、放課後子ども教室は全年齢が対象。児童クラブとあわせると全児童の9割が利用している。平日は授業終了後から午後6時まで、土曜・長期休み中は午前8時から午後6時まで。小学校体育館を利用し、自由活動のほか、ボランティア



ボランティア講師が協力
放課後子ども教室



指導者による各クラブ活動(和太鼓、剣道、茶道、テニス、百人一首)などを楽しんでいる。町内各団体の協力によるサッカー教室や探鳥会も企画し、児童にさまざまな体験の機会を提供している。

旧旭野小学校が展示施設に
小清水町郷土資料館

小清水町の歴史資料は昭和40年代から収集を開始し、1999(平成11)年より1300点におよぶ収蔵物の一部を公開してきた。2012年からは展示施設



を石造り倉庫から旧旭野小学校校舎に移転。再編した6小学校の貴重な資料もあわせて展示している。郷土資料はアオシマナイ遺跡・フレイトイ貝塚遺跡の出土品や入植期に使われていた水稲直播機等の農業林業耕具、エゾフクロウ等の剥製や昆虫標本など。施設見学は団体を対象に随時受付している(冬季は休業)。

小清水町教育委員会
生涯学習課
TEL 0152・62・2310

人が育ち・創るまち
[教育・スポーツ・文化]

子どもは地域の宝物。小清水町では、子どもたちの目線に立った学校づくりと豊かな心を育む教育を実践しています。また、「学ぶ」に年齢制限はありません。子どもからシニアに至るまでそれぞれのライフステージにあわせた学びの場を整備していきます。

Current Situation - Education, Sports and Culture

The number of elementary schools in the town was reduced from six to one in 2012. Koshimizu Elementary School gives classes on Saturdays in cooperation with Koshimizu Junior High School. Koshimizu Library offers a variety of programs including storytelling events. Children enjoy skating in winter. The town's hand-weaving circle is also active.

小清水の教育

町内6校を再編

土曜授業に普通授業を導入

小清水町立小清水小学校

小清水町は2010(平成22)年に水上小学校を、2012(平成24)年には5小学校(小清水小、北陽小、止別小、旭野小、中斗美小)を小清水小学校1校に再編し、新たな教育体制に乗り出した。閉校した5校のうち水上小学校と北陽小学校は、食品会社山口油屋福太郎が購入、北陽小学校はせんべい工場に生まれ変わった(P4参照)。

新・小清水小学校は普通学級10クラス、支援学級3クラス、全校児童244名でスタート。児童の半数近くがスクールバス通学であることを考慮し、バス路線を従来の6路線から7路線に増便。児童に無理のない登下校環境を整えている。

土日・祝日を活用する「土

曜授業」の取り組みにも熱心で、運動会や学芸会等の行事のほかに、全道に先駆けて普通授業も土曜授業の枠内で実施。児童に勉強習慣や基礎学力をしっかりと習得させてから中学校に送り出している。この土曜授業は小清水中学校でも行われ、義務教育の9年間を通した教育体制を敷いている。

また、現場では小中連携の教育研究にも着手し、小学校教職員が中学校で1日研修を行うなど、相互の情報交換が活発に行われている。さらに子育て世帯の経済的負担を軽減すべく、町では2015(平成27)年度より国の地域住民生活等緊急支援交付金を活用し、小中学校の給食費無償化に踏み切った。オホーツク管内で初めての取り組みとなる。

小清水町字小清水658・1
TEL 0152・62・2053

地域の避難所の役割も

小清水町立小清水中学校

1971(昭和46)年以降、町内唯一の中学校。2012年に新体育館と武道場が新設され、翌年には新校舎が完成した。新・小清水小学校との小中連携による「確かな学力」の向上を目指した教育研究を進めており、

土曜授業も熱心に行われている。体育館および武道場は、災害等の有事に町民たちを受け入れる避難所の役割も担っている。

小清水町字小清水640・1
TEL 0152・62・2109

